

学校だより

令和8年9月

戸山

新宿区立戸山小学校

スポーツの価値

校長 古谷 勉

4年に1度のサッカーワールドカップが終わりました。日本は惜しくも決勝ラウンド1回戦で敗退しましたが、強豪国と渡り合い、ベスト32に入る見事な戦いぶりでした。しかし、優勝したスペインの試合を見ると、更なる積み重ねが必要であることを、誰もが実感したことでしょう。

決勝戦終了後のアルゼンチン代表の振る舞いにFIFAの調査が入り処分が科されました。何度も劣勢を跳ね返して、決勝までコマを進めたチームだけに残念です。勝利への執念が感情を高ぶらせると考えられますが、力の限り戦ったことを誇りに、優勝国を称えてほしかったという思いです。

スポーツ庁では、競技スポーツ振興の意義を「…自らの能力と技術の限界に挑む活動であると同時に、その優れた成果は、人々のスポーツへの関心を高め、スポーツ全体の振興に資するとともに、活力ある健全な社会の形成にも貢献するもの」としています。それだけに、プロの選手は我々のモデルでもあるのです。同じ球技であるラグビーでは、ワールドラグビー・メンバー協会が、ラグビーがもつ人間形成に資する特徴として「品位・情熱・結束・規律・尊重」の5つの価値を掲げています。「規律」はフィールド内外で遵守すること。試合はもとより使用したロッカールームなども整えて帰ることが求められています。「尊重」は、チームメイト、相手、レフェリーなど、ラグビーにかかわる人々全てを尊重することを重んじています。

相手と競うことで、自分を向上させられるのが競技スポーツの特徴ですが、度が過ぎれば単なる争いごとです。スポーツに求めるものは人それぞれですが、相手が存在する競技こそ、勝負を超えた価値を重視する必要がありますと考えます。試合の前後になぜ礼をするのか、など子どもたちにもその意味を具体的に伝えていくことが大切です。

2学期が始まりました。授業日数は78日。日々の授業に加え、AOTなどの行事一つ一つにも力を尽くし、教育活動の充実に努めていきます。

ワクワクスクールについて

ワクワクスクール担当

7月21日（火）・22日（水）に、ワクワクスクールを行いました。ワクワクスクールは、海城高校、保善高校、戸山高校の3校の生徒が、戸山小の児童のために様々な講座を開いてくれる行事です。スクールコーディネーターを中心に、高校生と小学生が交流する場となっています。戸山小の子どもたちはワクワクスクールの毎年楽しみにしており、今年もたくさんの申し込みがありました。

どの講座も高校生が主体となって進行してくれました。バスケットボールやしっぽ取りゲーム、レクリエーションの運動系、微生物の観察、俳句作り、マジック、シール作りなど、様々な講座を開いてもらいました。初めは小学生も高校生も緊張気味でしたが、スポーツや遊び、実験等、各講座の活動を通して、とても温かい雰囲気の中で交流をすることができました。

当日は、たくさんの高校生、そして地域や保護者の方々に大変お世話になり、子どもたちにとって有意義な時間となりました。今後も、地域とのつながりを大切に、教育活動を進めてまいります。

カウンセラーより

都カウンセラー
区カウンセラー

子どもは「見て!」「一緒にやろう!」と、何でも声をかけてきます。忙しい時には「あとでね」と伝えることもありますが、少しの時間でも子どもとかわり、言葉を交わすことが、子どもにとっての大きな安心につながります。

親との関わりは、子どもの心を満たし、意欲や困難に立ち向かう力を育てる大切な土台です。

保護者の方からは、「朝に少し遊ぶ時間を作ったら、落ち着いて過ごせるようになった」「毎日ハグをしたら穏やかになった」「話を聞く時間を作ると、自分から話してくれるようになった」などの声も聞かれます。どれも日常の中で無理なく取り入れられる関わりです。

一方で、親にも余裕がない日はあります。子どもは大人の表情の変化や雰囲気の変化を敏感に感じ取り、不安になることがあります。普段の安心できる関わりを積み重ねが、子どもの心の支えになると思います。

相談室では、子育てに関する悩みや関わり方について一緒に考えています。お気軽にご相談ください。